

3 居住希望

(1) 定住の意向

県民の定住の意向をみるため、まずその定住志向の強さを「いつまでも今住んでいるところに住みたい」という「永住志向型」、「特に住み続けたいほどではないが、よそに移る気もない」という「現在地居住志向型」、「いつかはよそへ移りたい」という「潜在的移転志向型」、「できれば今すぐにでもよそへ移りたい」という「即移転志向型」の4段階から選んでもらい、次いで、その理由を尋ね、さらに、よそへ移りたいという意向を示した者については、その場所を5つの項目から選んでもらった(問5)。

これらの結果を県全体としてみると、「永住志向型」が29.8%と最も多く、次いで、「現在地居住志向型」が28.1%、「潜在的移転志向型」が24.1%、「即移転志向型」が9.3%となっている。また、「永住志向型」と「現在地居住型」を「定住型」、「潜在的移転志向型」と「即移転志向型」を「移転型」とすれば、前者が57.9%、後者が33.4%となり、県全体としては定住志向を持つ者が多くなっているものの、約3人に1人が移転志向を持っていることがわかる(図5-3-1)。

過去の調査を通してみると、過去3回の調査結果では「永住志向型」の増加がみられ「定住型」の漸進的増加を支えてきたが、今回調査において「永住志向型」に9.1ポイントの落ち込みがあり、「定住型」としても57.9%と6割を割る結果となっている。このように、県民の定住志向は、過去の調査時点と同様に過半数を超えてはいるが、今回調査時点においては減少がみられ、移転志向が増えたといえる。

「定住型」の回答者に対して、定住を志向する理由を3つ選んでもらったところ、「自分の家がある(66.3%)」、「今住んでいるところに愛着がある(54.7%)」、「生活するのに便利である(52.4%)」、「住環境が良い(35.0%)」等をその理由として挙げる者が多かった(図5-3-2)。一方、「移転型」についても、移転を志向する理由を3つ選択してもらったが、「自分の家を持ちたい」と回答した者の割合が58.5%と突出しており、次いで「住環境が悪い(28.1%)」、「生まれ育ったところで住みたい(18.0%)」などとなっている(図5-3-3)。また、両者の「無回答」を比較すると、「移転型」のそれが「定住型」の2倍以上となっており、定住を志向する者の方が、移転を志向する者よりも多くの理由を持っていると思われる。

さらに、「移転型」の者については、「希望する移転先」を5項目の中から1カ所選択してもらった(図5-3-4)。これによると、「今住んでいる市町村内」を選ぶ者が最も多く、次いで「県内の他の市町村」、「本土」、「どこでもよい」、「外国」となっており、移転に際しては、移転先が近距離程良いと考えるものが多い。

また、今回調査においては、「今住んでいる市町村内」が前回調査より4.1ポイント減少したのに対し「県内の他の市町村」が14.1ポイントの大幅な増加をみせており、その差が2.7ポイントまで縮まった(前回20.9ポイント差)。これは、モータリゼーションの進展等により、居住圏の拡大が進んでいる

ことをうかがわせる。

図5-3-1 定住の意向（県計）（単位：％）

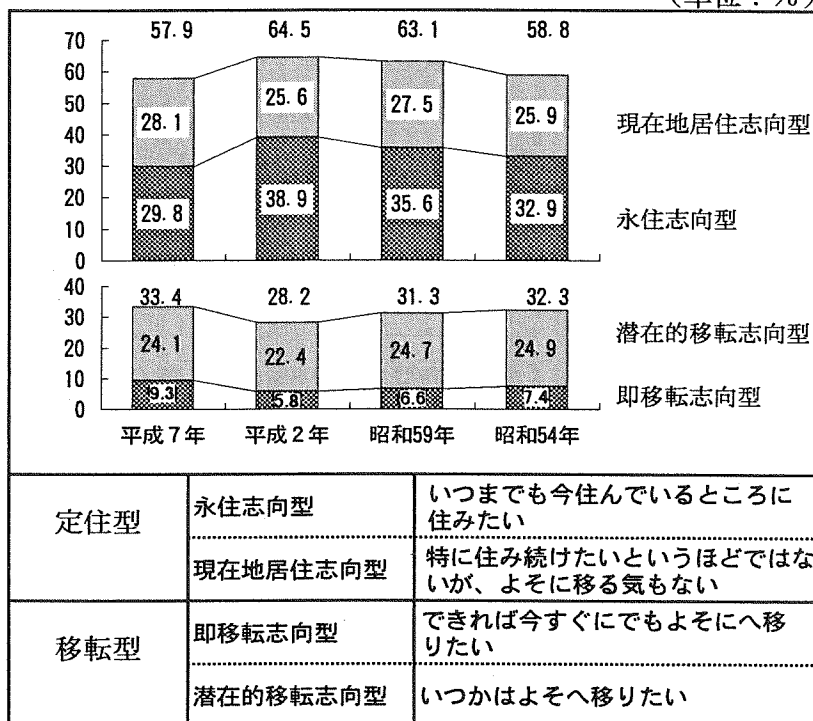


図5-3-2 定住希望理由（県計）（単位：％）

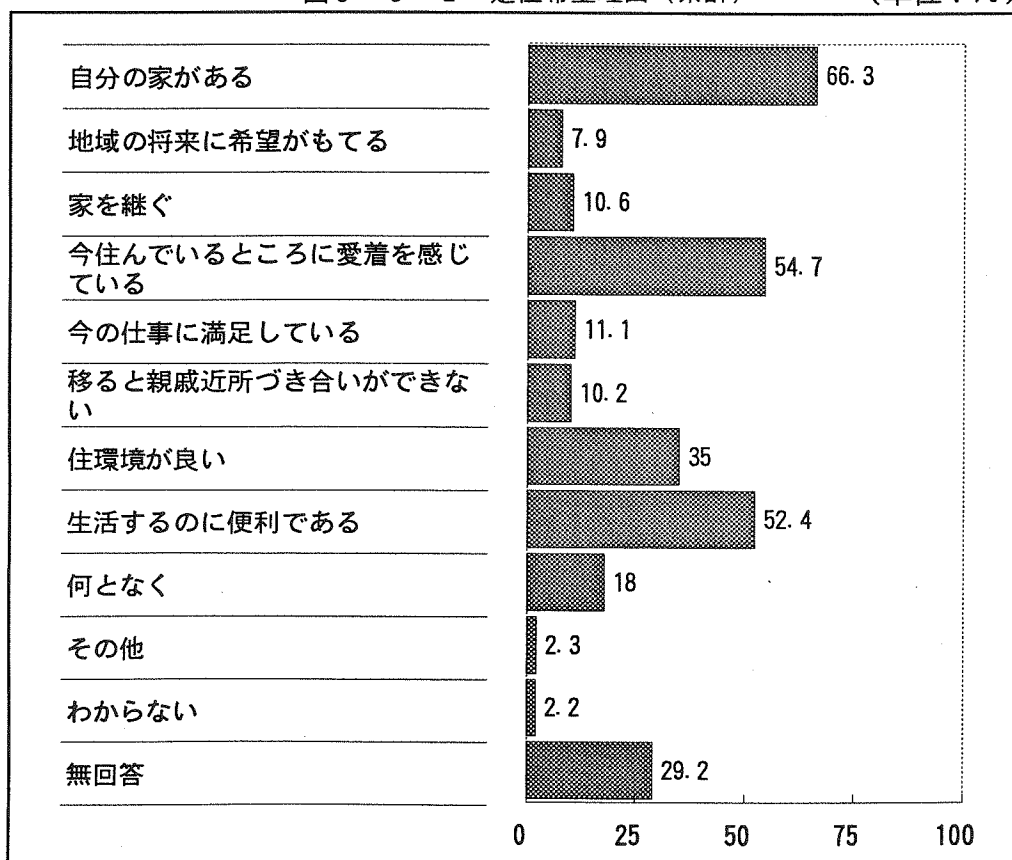


図 5 - 3 - 3 移転希望理由 (県計)

(単位：%)

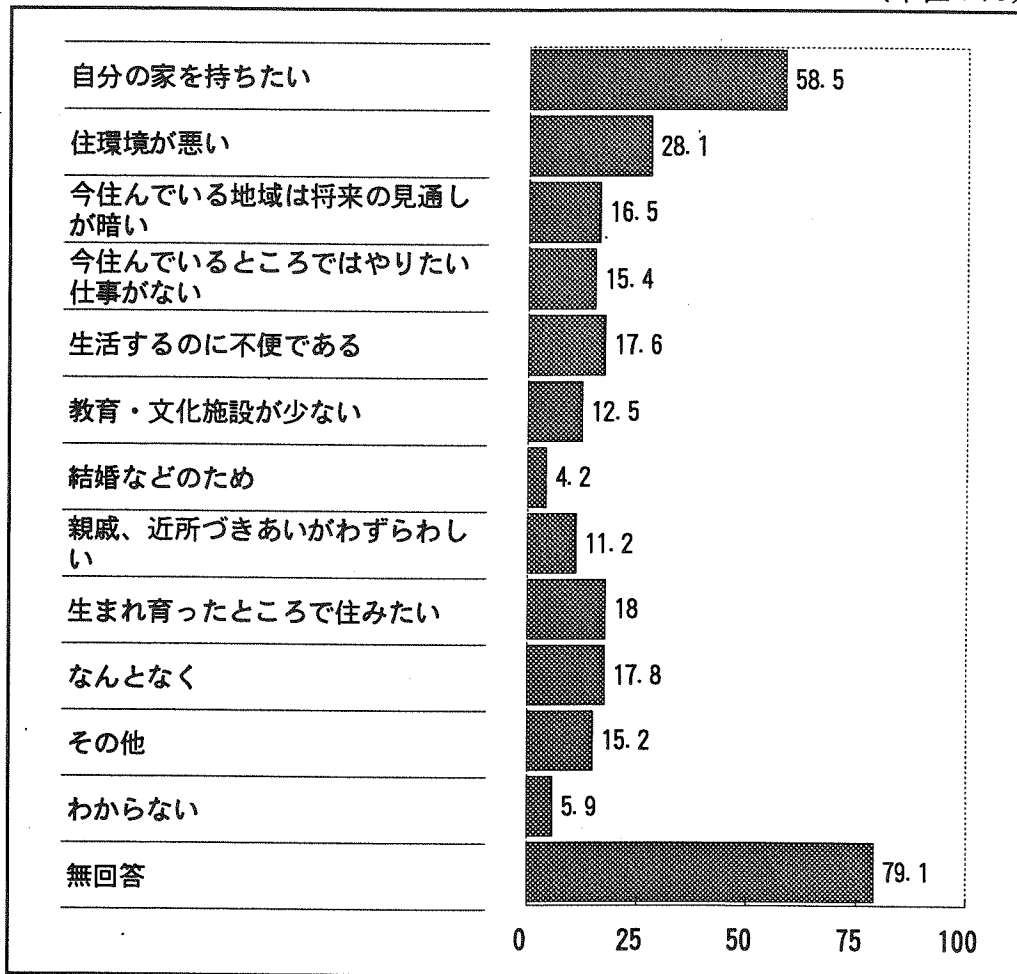
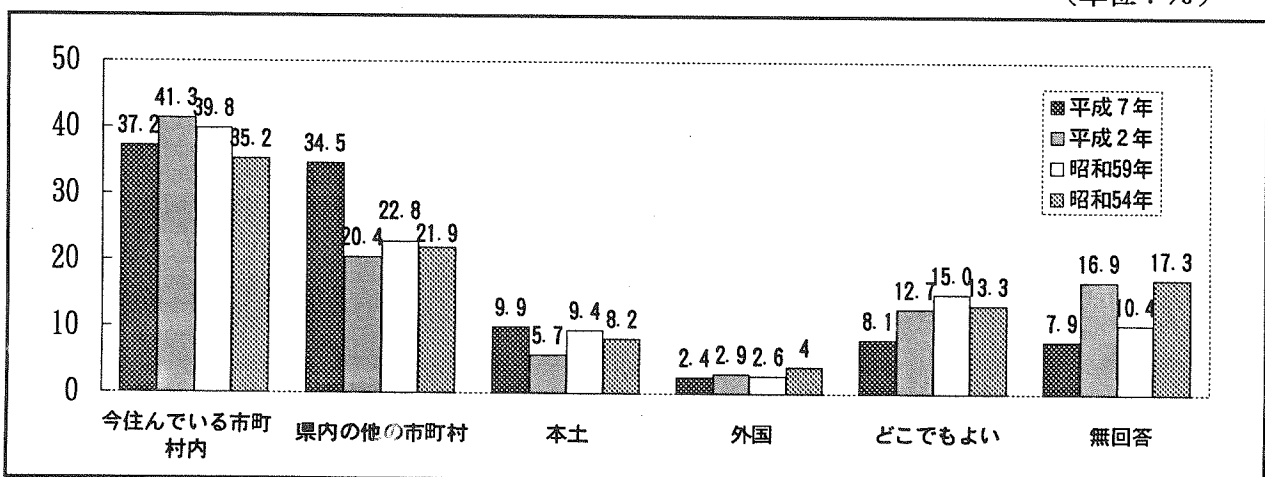


図 5 - 3 - 4 希望移転先 (県計)

(単位：%)



「男女別」

定住の意向について、性別による違いはほとんどみられない。「定住型」、「移転型」のいずれも、その差は1ポイント以内であり、県計とほぼ同じ結果となった（図5-3-5）。しかし、その「理由」に関しては、性別による違いがみられる。「定住型」の者に選択してもらった「定住を志向する理由」については、男性が「家を継ぐ」で6.4ポイント、「何となく」で3.6ポイント上回り、逆に女性が「生活するのに便利」で5.2ポイント、「現地に愛着がある」で3.7ポイント上回った（図5-3-6）。

また、「移転型」の者に選択させた「移転を志向する理由」では、男性が「住環境が悪い」で3.9ポイント、「生地で住みたい」で3.6ポイント上回り、女性が「付き合いが煩わしい」で5.2ポイント、「やりたい仕事がない」で2.7ポイント上回る結果となった（図5-3-7）。「希望する移転先」では、「今住んでいる市町村内」で女性が男性を2.7ポイント上回り、「本土」では男性が女性を1.9ポイント上回った。この差はわずかなものであるが、過去の調査においても同様に現れており、男性が女性よりも本土への移転を望み、女性の方が男性より、身近への移転を望む傾向があることが観察される（図5-3-8）。

図 5-3-5 定住希望意向 (県計)

(単位：%)

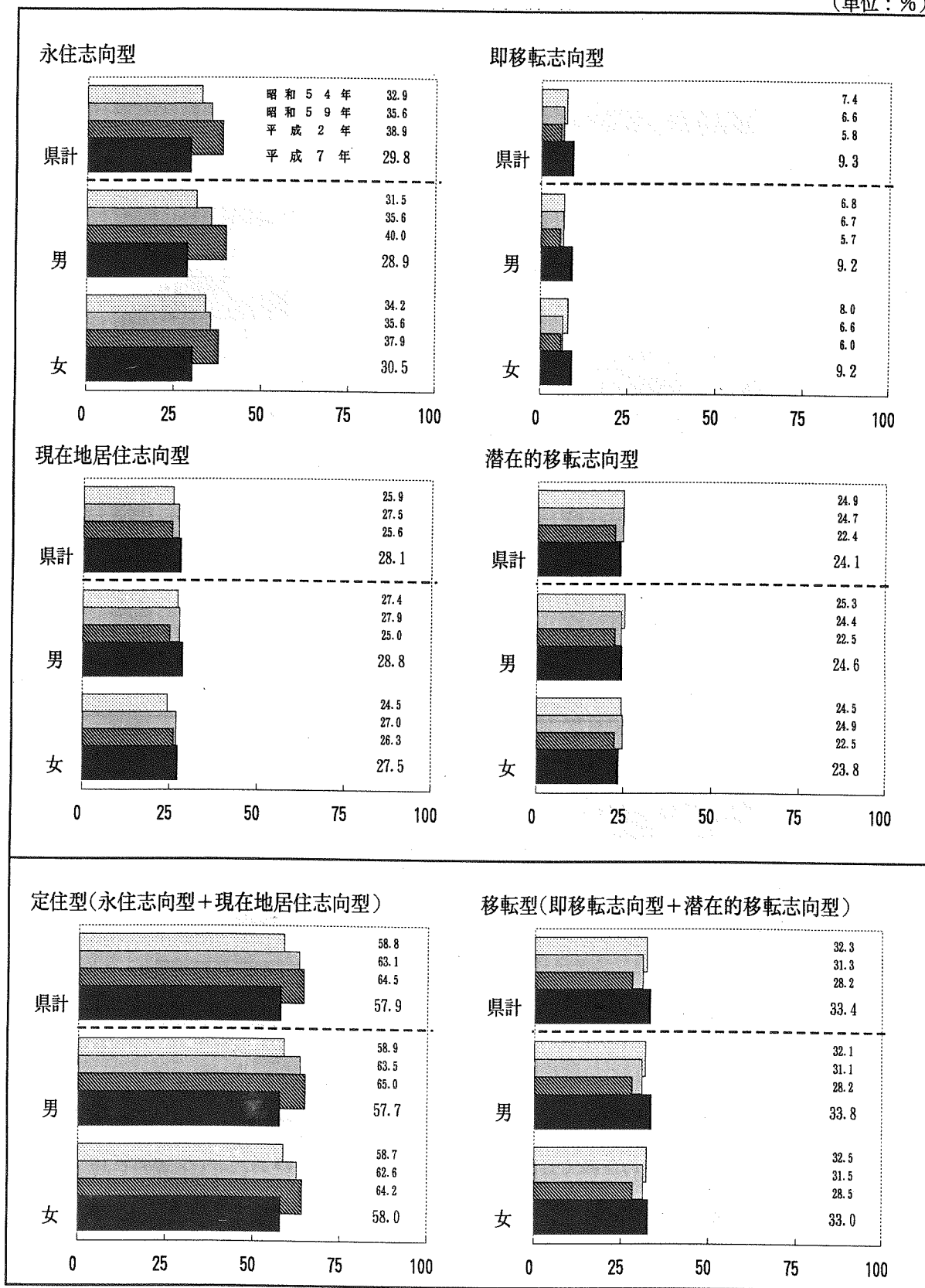


図 5-3-6 定住希望理由（性別）

（単位：％）

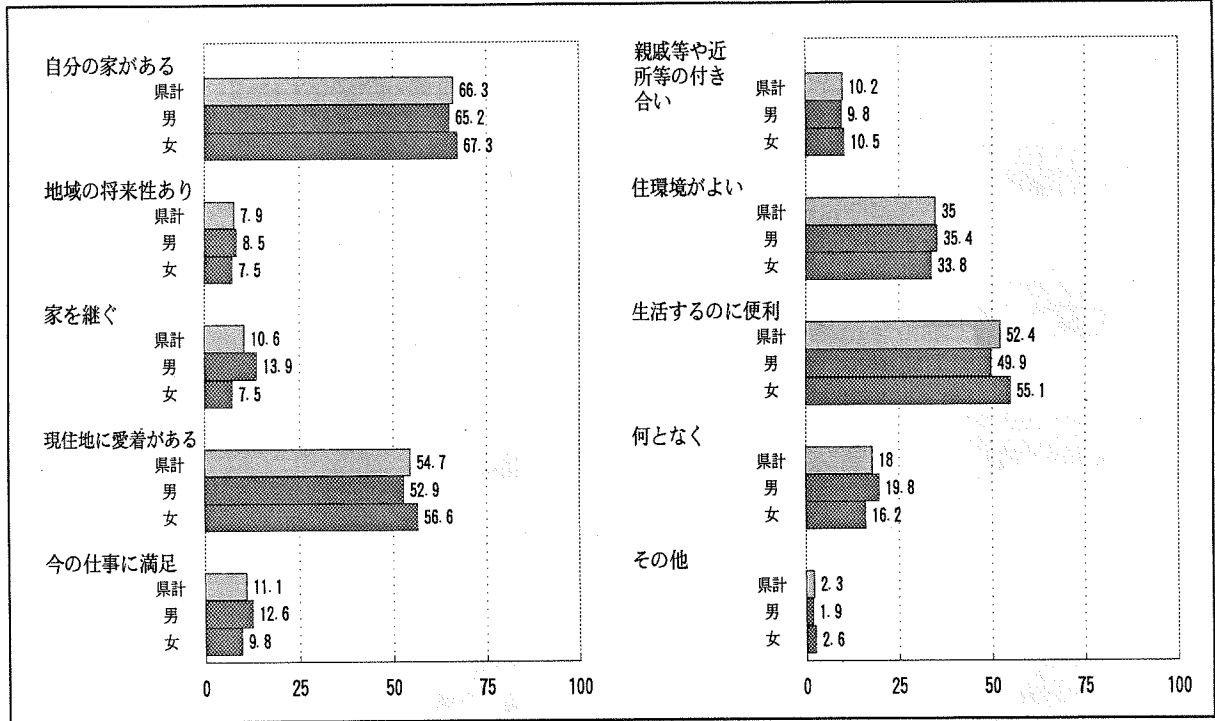


図 5-3-7 移転希望理由（性別）

（単位：％）

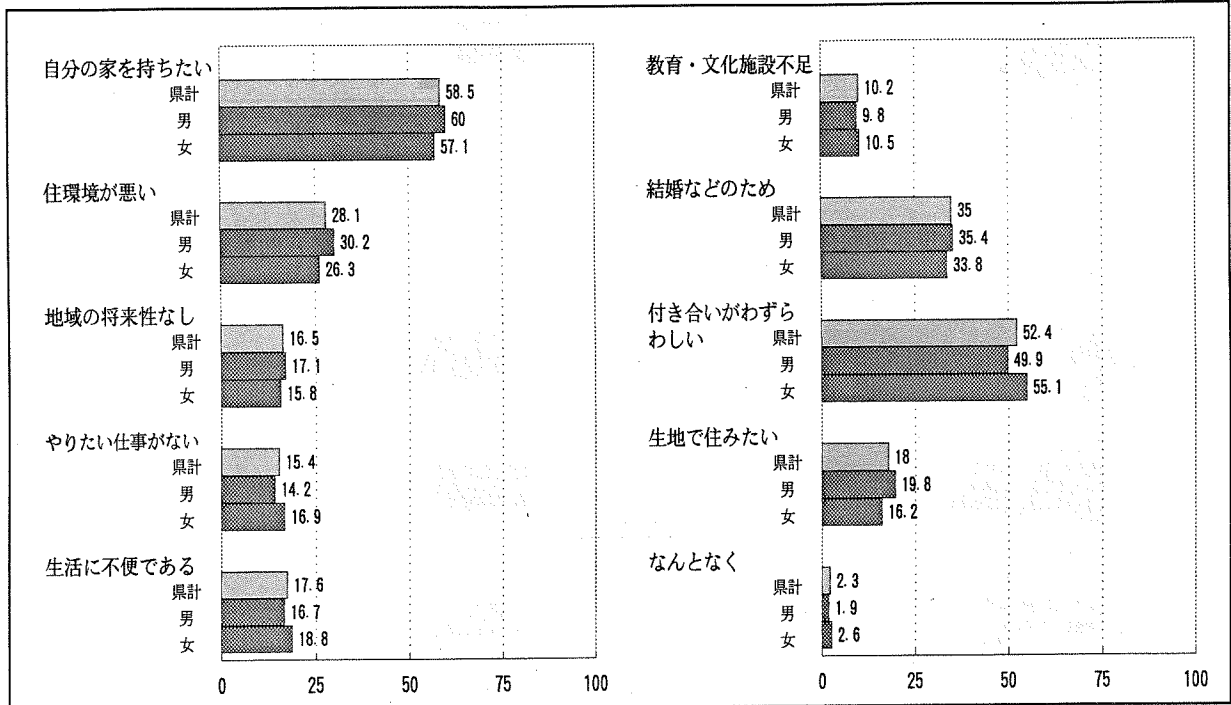
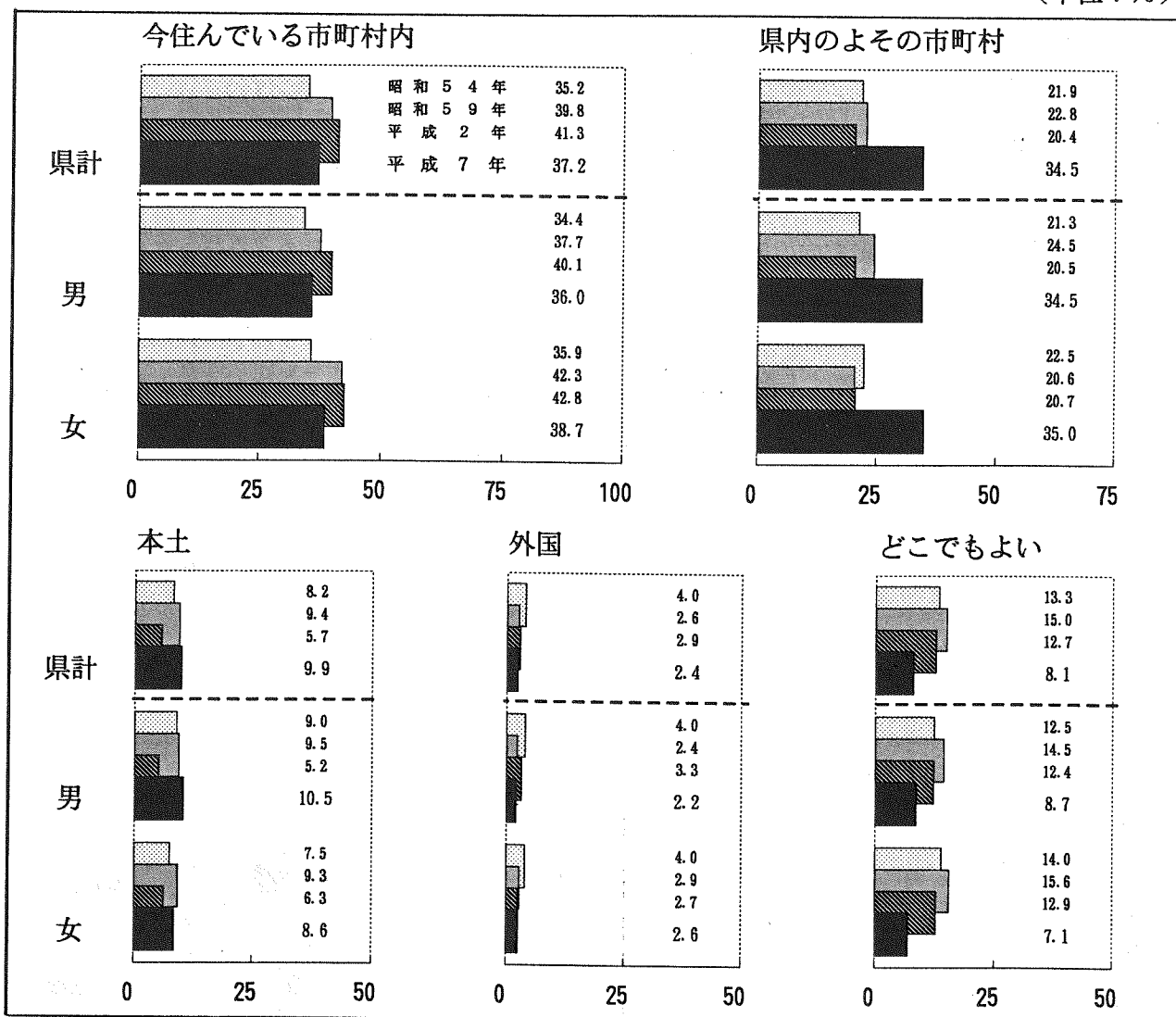


図5-3-8 希望移転先（性別）

（単位：％）



「年齢階級別」

ほぼ全年齢階級において定住を志向する者が多く、年齢が上がるにつれてその割合が強くなる傾向がみられる。「40歳以上」で過半数が定住型の志向をもち「70歳以上」では実に8割強に達する（図5-3-9）。「定住を志向する理由」についてみると年齢層が上がるにつれて、その割合が高くなる傾向を持つ項目には、「自分の家がある」、「今住んでいるところに愛着を感じている」、「移ると親戚、近所付き合いができない」などがあり、年齢を重ねるに従って、高まってくる居住地への関わりや想いが、高年層の定住志向を強めていると考えられる（図5-3-10）。

一方、「移転型」については、「39歳以下」でその割合が高く、それより上の年齢階層においては、年齢層が上がるに伴い、移転を志向する者の割合が減少する傾向がみられるが、「移転を志向する理由」についてみると、「自分の家を持ちたい」、「教育・文化施設がない」、「生活するのに不便である」等で同様の傾向がみられ、新しいよりよい環境での生活を渴望する比較的若い年齢層の様子がうかがわれる（図5-3-11）。

前回調査時点において、「定住型」で5割を下回ったのは「15～19歳」の年齢階級だけであったが、今回調査では、39歳以下の3つの年齢階級で5割を下回っている。また、「15～19歳」ではその「定住型」減少の傾向がさらに進み、「移転型」が「定住型」を上回っている。一方、「移転型」においては、「15～19歳」と「30～39歳」が高くかつ、過去調査を通して増加してきている。しかし、「15～19歳」は「即移転志向型」の増加が「移転型」の増加要因となっているのに対し、「30～39歳」では「潜在的移転志向型」も増加しており、二つの年齢階級の漸進的増加は異なる質を持っていると言える。また、移転志向の理由として特徴的な項目には「20～39歳」の「自分の家を持ちたい」や、「20～29歳」の「結婚などのため」などがあり、結婚やその後の出産・子育てというこれらの世代の生活背景の変化等が、移転志向を高める理由となっていると考えられる。

また、「移転型」の者に「希望移転先」を選択してもらっているが、「今住んでる市町村内」については年齢層が高いほどその割合が高く、年齢層が上がると、定住を志向する者が増えるだけでなく、移転希望者についても住み慣れた地域への定着志向が強くなることがわかる。逆に希望移転先を「本土」とする者は、若年層ほど多くみられる。また、「県内のよその市町村」については、「20～49歳」にわたる3つの年齢階級で希望者の割合が高くなっており、これらの年齢層は先に述べたように「自分の家を持ちたい」という意識を持つ者が多く、目的地のある程度定まった移転希望であると考えられる（図5-3-12）。

図5-3-9 定住の意向（年齢階級別）

(単位：%)

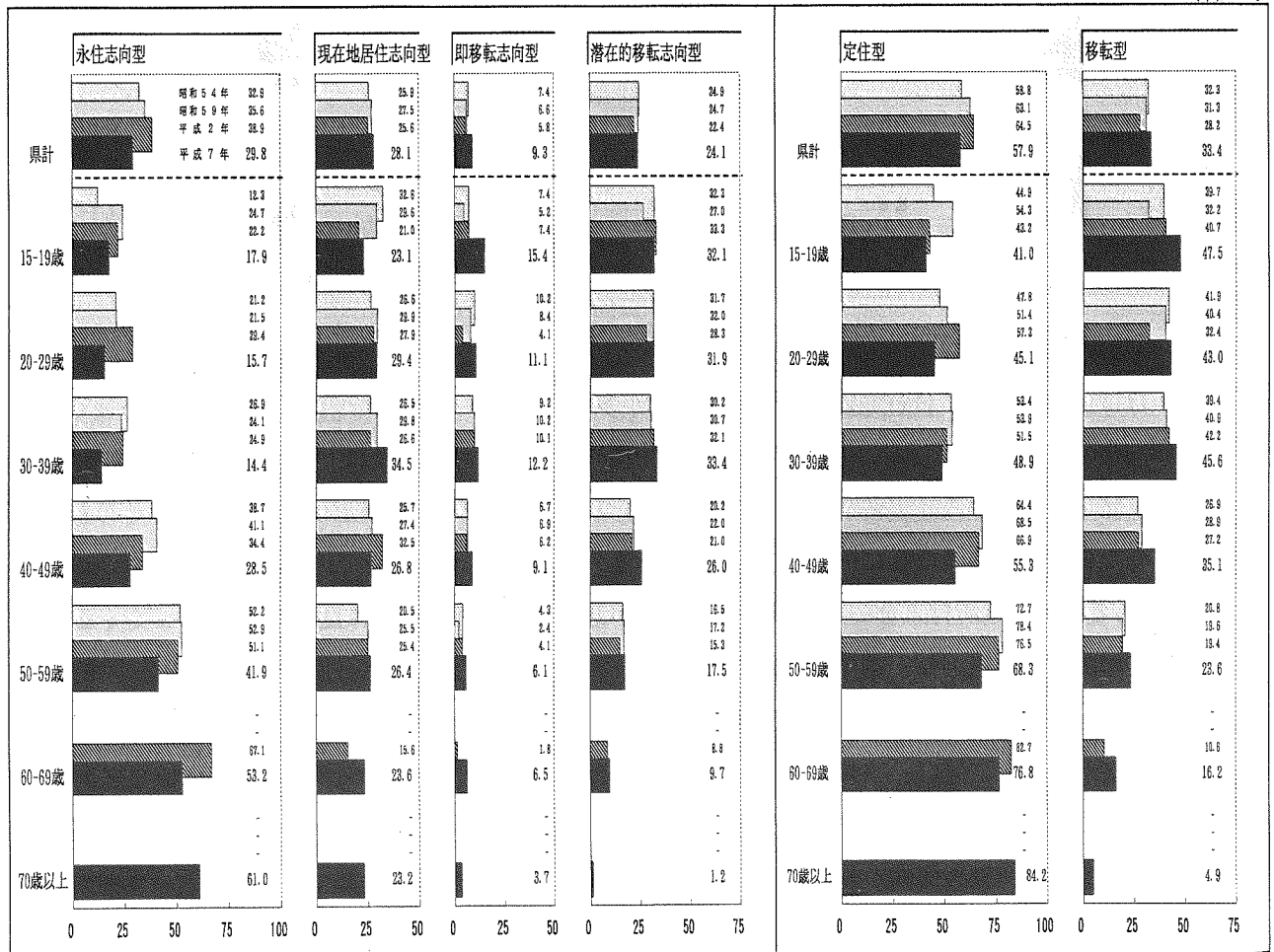


図5-3-10 定住希望理由（年齢階級別）

（単位：％）

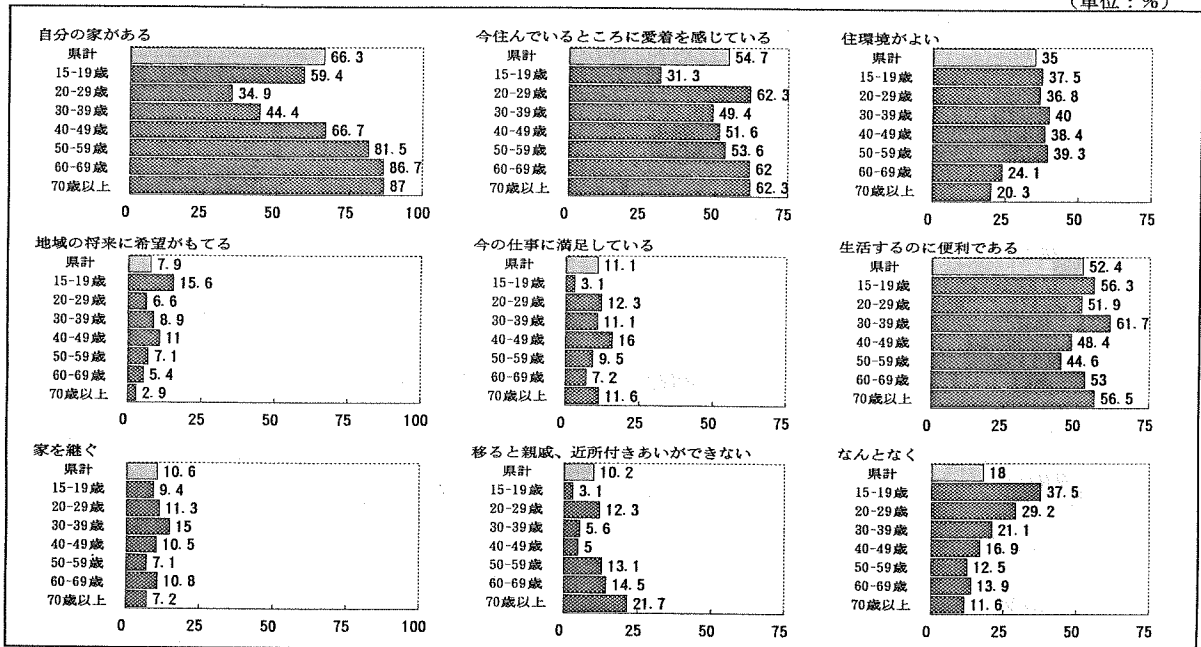


図5-3-11 移転希望理由（年齢階級）

（単位：％）

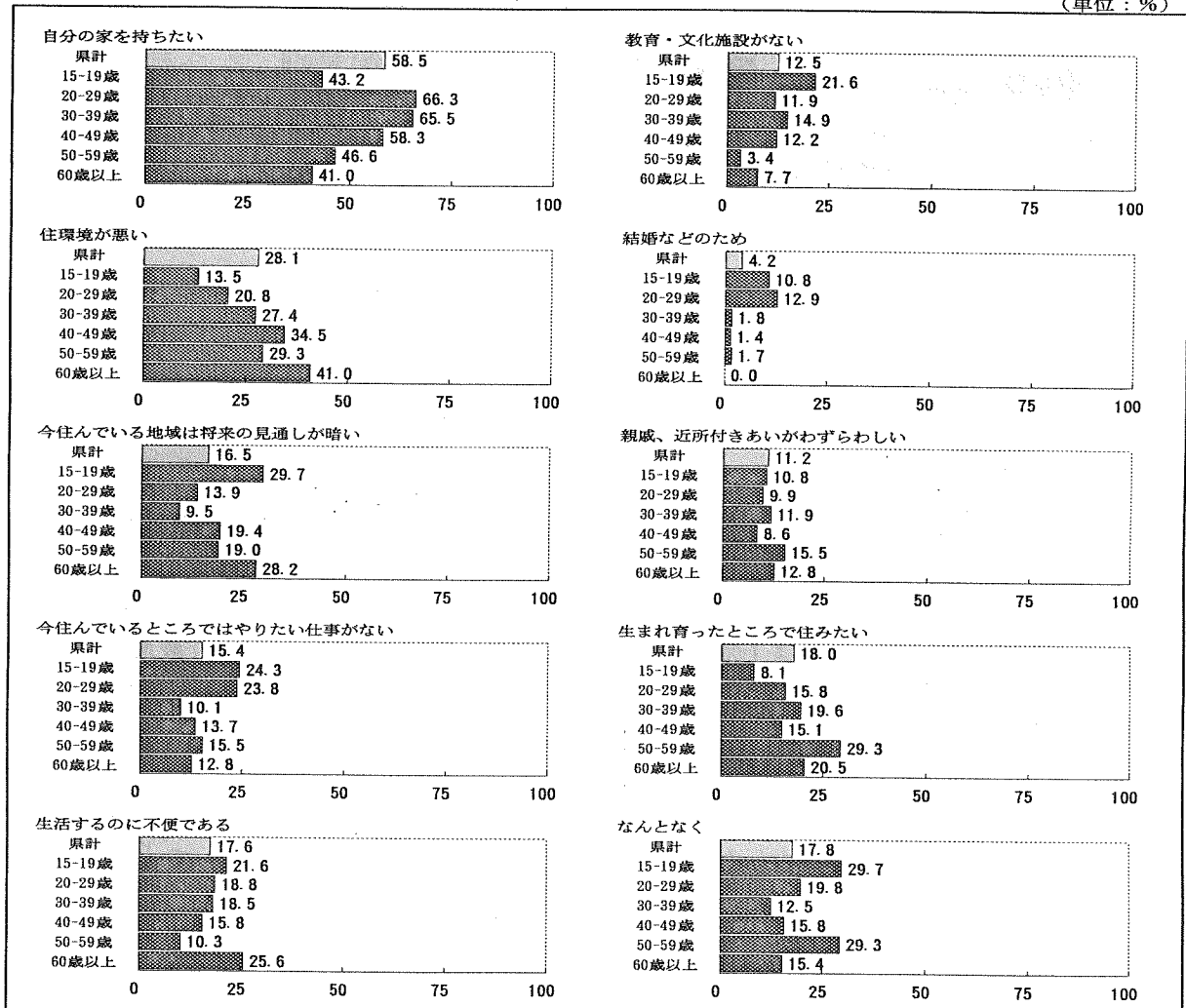
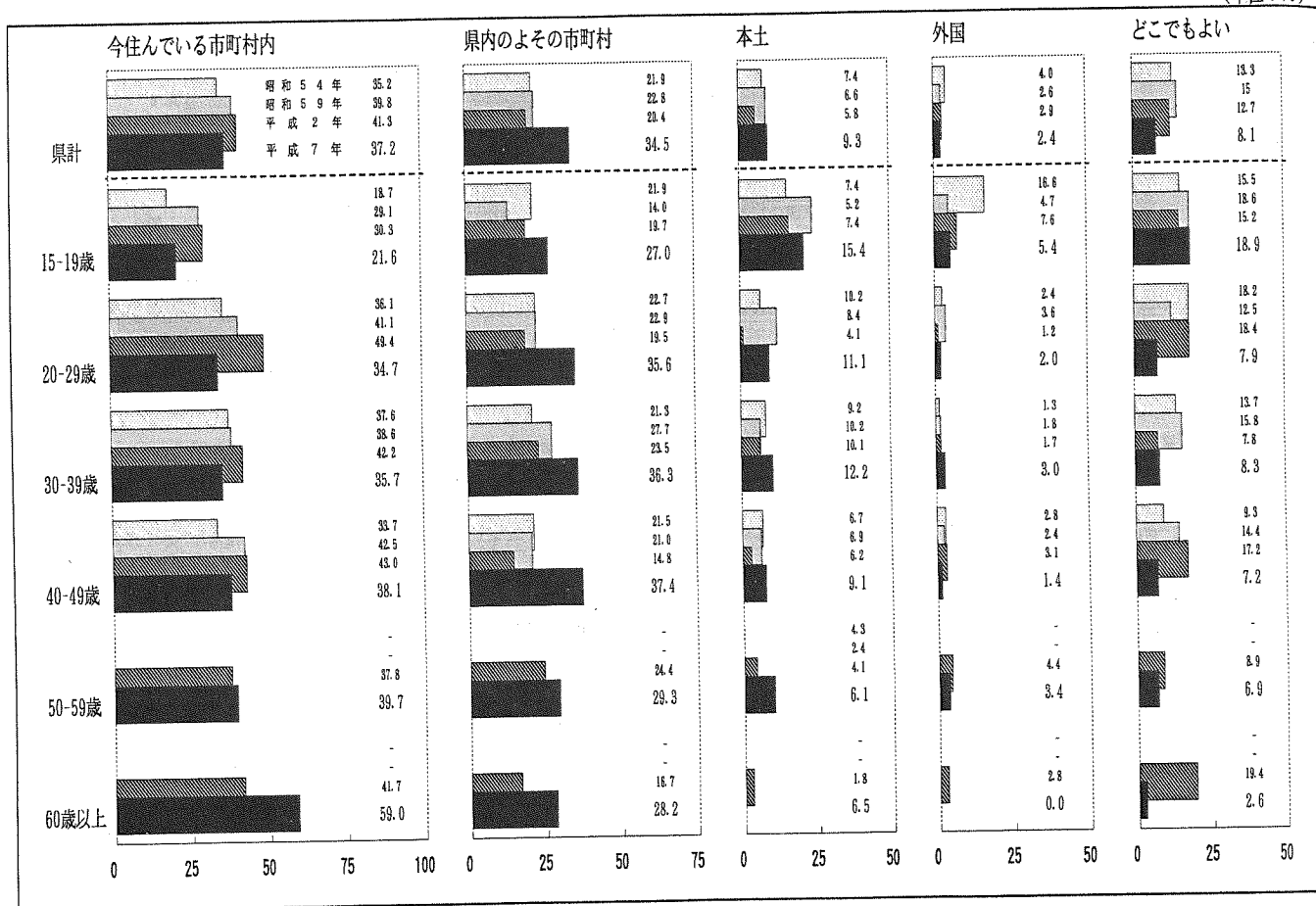


図5-3-12 希望移転先（年齢階級別）

(単位：%)



「地域別」

全地域で定住を志向する者の割合が移転型のそれを上回っているが、その度合いは都市部(那覇)から離れるほど強くなる傾向がみられる。特に定住志向の強い「永住志向型」に限ってみるとその傾向は顕著であり、「那覇」が2割程度であるのに対して、「八重山」においては5割を越える結果となった(図5-3-13)。

「定住を志向する理由」で同様の傾向を示した項目に、「自分の家がある」、「住環境がよい」、「家を継ぐ」等があり、持ち家の有無を含めた住環境の良好さが、定住志向の向上に影響を与えていると思われる(図5-3-14)。

一方、「移転型」については「那覇」でその割合が最も高く、「八重山」を除く殿地域では周辺に離れるに従いその割合が低くなる。「八重山」では「定住型」の割合も他の地域より高くなっており、若年層の移転志向と比較的高年層の定住志向とに、二極分化している様子が見られる(図5-3-14)。

また、「移転を志向する理由」の選択肢の中で、同様の傾向を示した項目として「自分の家を持ちたい」、「住環境が悪い」等があり、「定住型」の意見と同様に、住環境の良し悪しが移転志向の程度に影響を与えていると考えられる(図5-3-15)。さらに、「移転型」の者には希望移転先を

選択してもらっているが、「那覇」では希望移転先を「今住んでいる市町村内(那覇)」とする者が多く、また「中部」、「南部」は「県内の他の市町村」を希望移転先としていることから、本島中南部においては「那覇」に希望移転先が集中しているものと考えられる(図5-3-16)。「八重山」では「那覇」と同様に「今住んでいる市町村内(八重山)」を移転先を選ぶ者が多い。これには、先に述べた「定住を志向する理由」の選択肢の「生活するのに便利である」が同様の傾向を持っていることから、生活の利便性が影響していると考えられる(図5-3-16)。

図5-3-13 定住の意向(地域別)

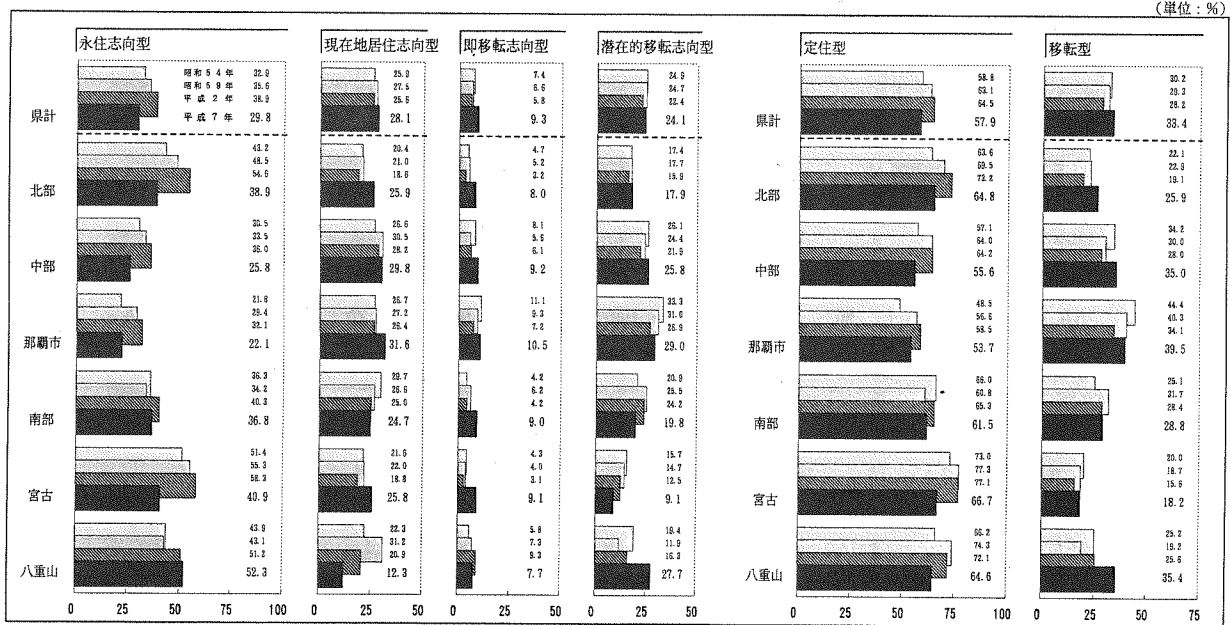


図5-3-14 定住希望理由(地域別)

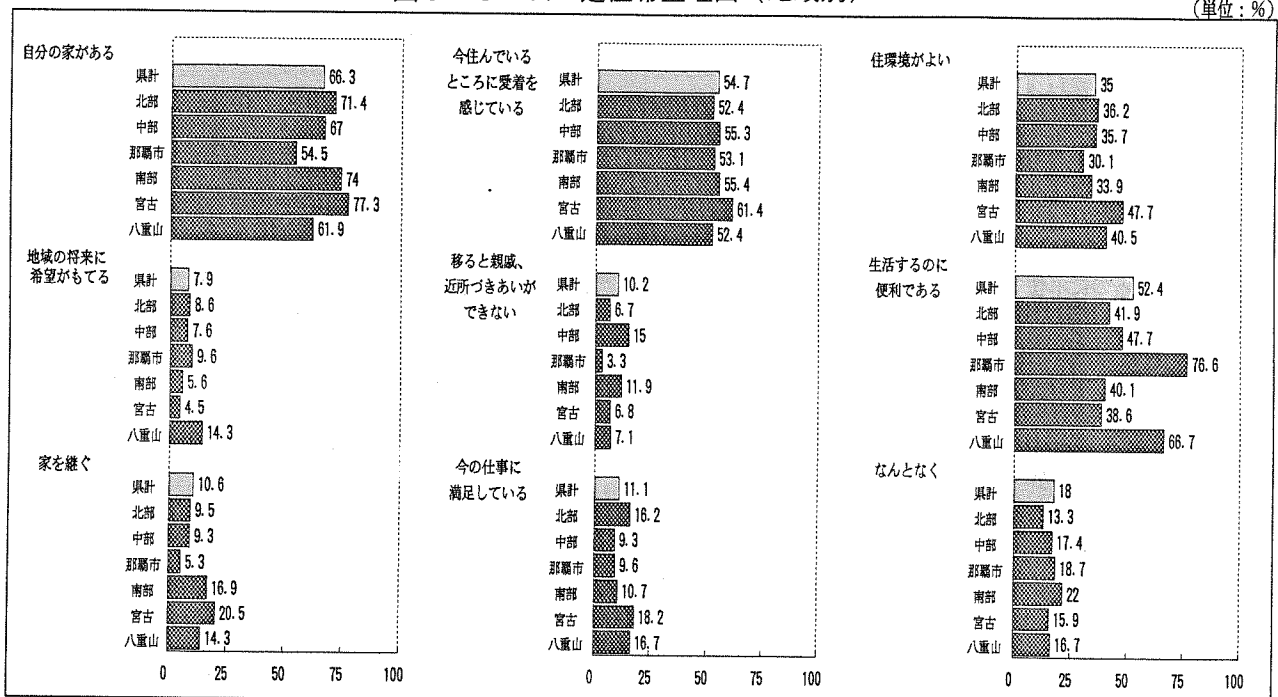


図 5 - 3 - 15 移転希望理由 (地域別)

(単位: %)

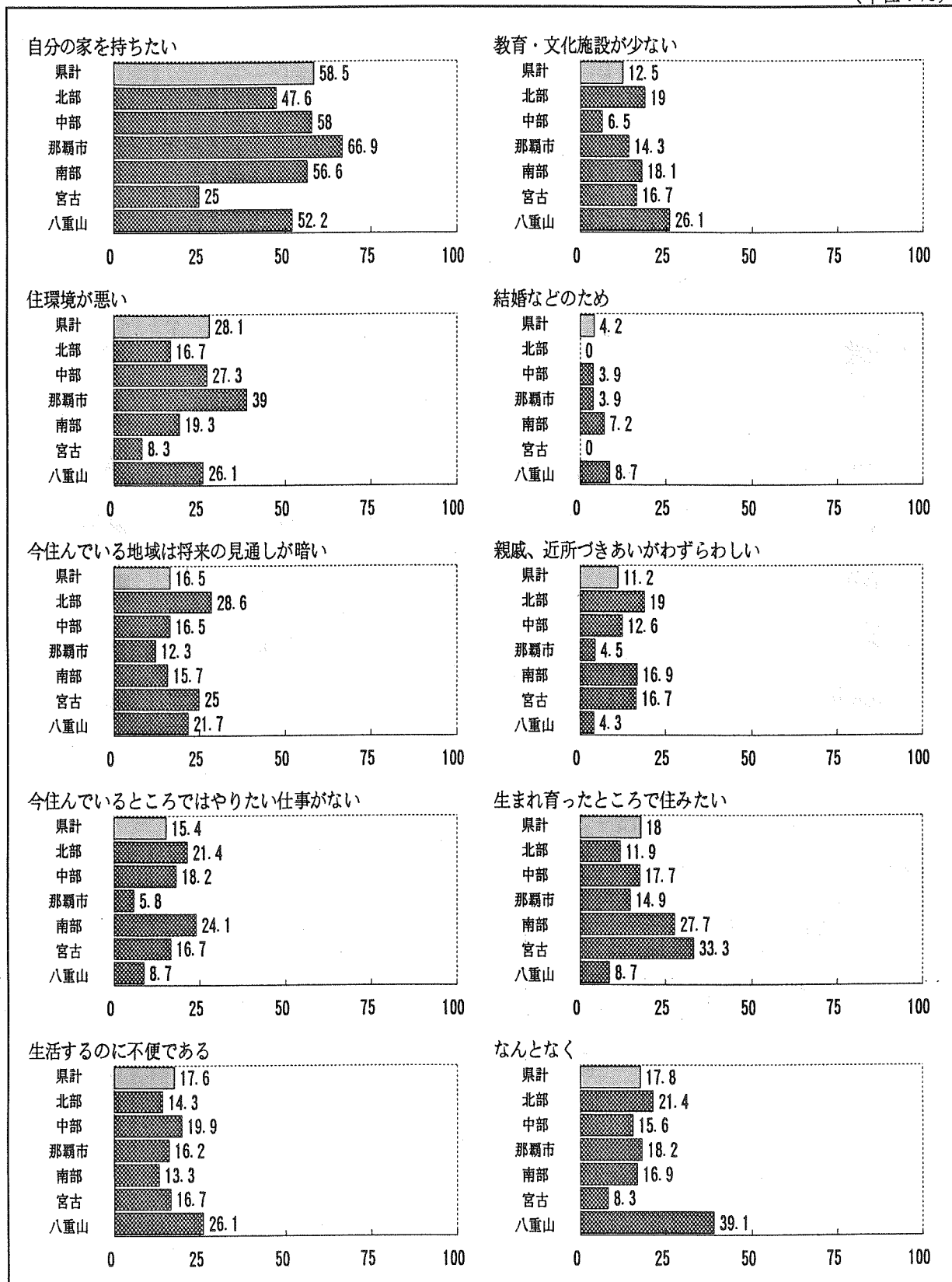


図 5-3-16 移転希望先 (地域別)

(単位: %)

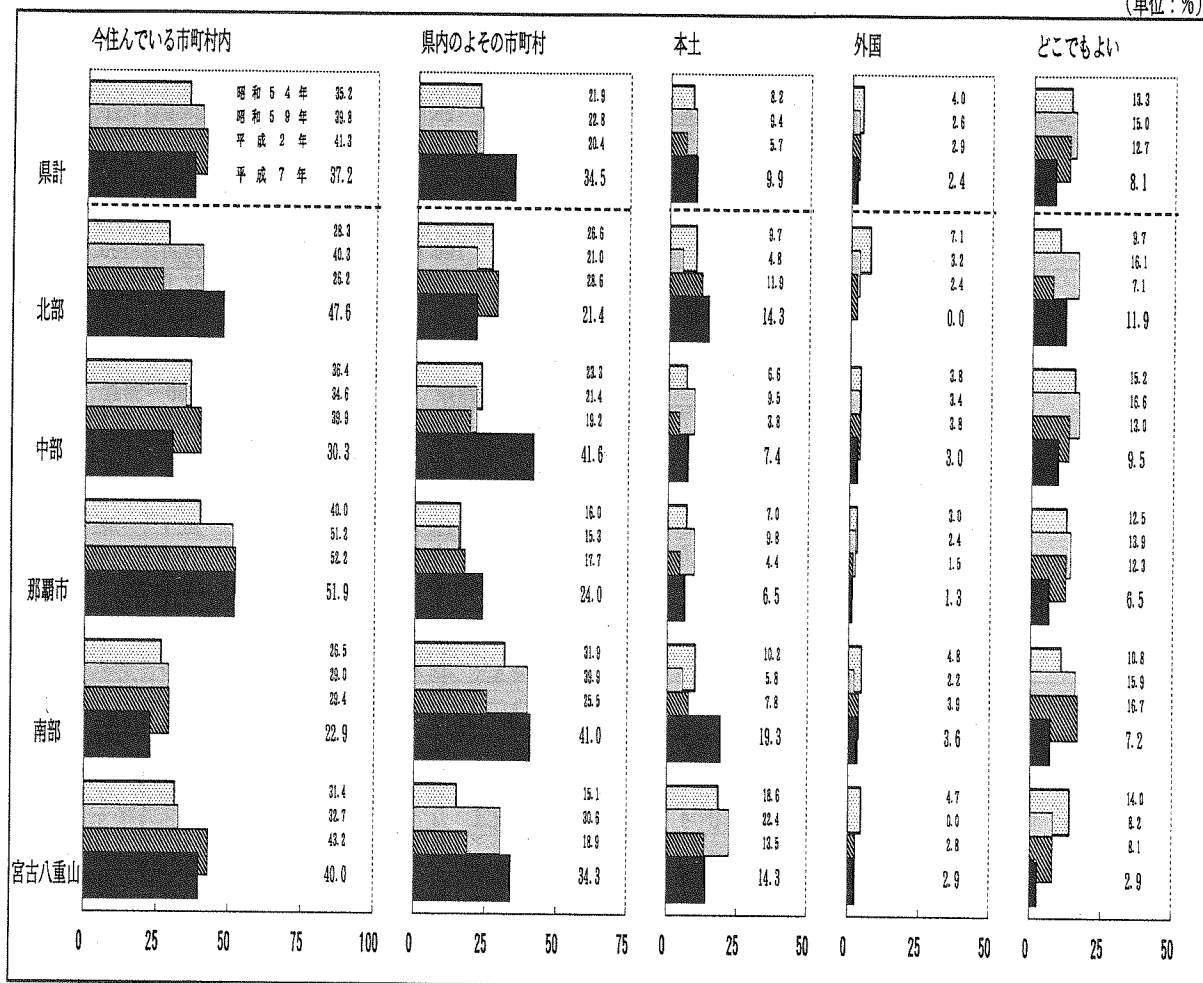


表5-3-1 定住の意向

①県計・性別

(単位：%)

項目	区分	県計				男				女			
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
永住		32.9	35.6	38.9	29.8	31.5	35.6	40.0	28.9	34.2	35.6	37.9	30.5
あえて移転する気なし		25.9	27.5	25.6	28.1	27.4	27.9	25.0	28.8	24.5	27.0	26.3	27.5
できれば即移転		7.4	6.6	5.8	9.3	6.8	6.7	5.7	9.2	8.0	6.6	6.0	9.2
いつかは移転		24.9	24.7	22.4	24.1	25.3	24.4	22.5	24.6	24.5	24.9	22.5	23.8
わからない		5.3	4.6	5.8	4.1	5.0	4.4	5.3	3.7	5.6	4.8	6.1	4.6
無答		3.6	1.0	1.5	4.6	4.0	1.0	1.5	4.8	3.2	1.1	1.2	4.4
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(定住型)		58.8	63.1	64.5	57.9	58.9	63.5	65.0	57.7	58.7	62.6	64.2	58.0
(移転型)		32.3	31.3	28.2	33.4	32.1	31.1	28.2	33.8	32.5	31.5	28.5	33.0

②年齢階級別

(単位：%)

項目	区分	15～19歳				20～29歳				30～39歳			
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
永住		12.3	24.7	22.2	17.9	21.2	21.5	29.4	15.7	26.9	24.1	24.9	14.4
あえて移転する気なし		32.6	29.6	21.0	23.1	26.6	29.9	27.9	29.4	26.5	29.8	26.6	34.5
できれば即移転		7.4	5.2	7.4	15.4	10.2	8.4	4.1	11.1	9.2	10.2	10.1	12.2
いつかは移転		32.3	27.0	33.3	32.1	31.7	32.0	28.3	31.9	30.2	30.7	32.1	33.4
わからない		11.7	11.6	14.2	7.7	7.3	6.3	9.3	8.9	4.0	4.6	5.7	3.0
無答		3.6	1.9	1.9	3.8	3.0	1.9	1.0	3.0	3.1	0.7	0.6	2.4
計		99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	100.1	100.0	99.9
(定住型)		44.9	54.3	43.2	41.0	47.8	51.4	57.3	45.1	53.4	53.9	51.5	48.9
(移転型)		39.7	32.2	40.7	47.5	41.9	40.4	32.4	43.0	39.4	40.9	42.2	45.6

項目	区分	40～49歳				50～59歳				60～69歳		70歳以上
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	平2年	平7年	平7年
永住		38.7	41.1	34.4	28.5	52.2	52.9	51.1	41.9	67.1	53.2	61.0
あえて移転する気なし		25.7	27.4	32.5	26.8	20.5	25.5	25.4	26.4	15.6	23.6	23.2
できれば即移転		6.7	6.9	6.2	9.1	4.3	2.4	4.1	6.1	1.8	6.5	3.7
いつかは移転		20.2	22.0	21.0	26.0	16.5	17.2	15.3	17.5	8.8	9.7	1.2
わからない		3.9	1.9	4.7	3.8	3.3	1.5	2.4	3.3	4.4	2.3	1.2
無答		4.8	0.7	1.2	5.8	3.1	0.5	1.7	4.9	2.1	4.6	9.8
計		100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	100.0	100.0	100.1	99.8	99.9	100.1
(定住型)		64.4	68.5	66.9	55.3	72.7	78.4	76.5	68.3	82.7	76.8	84.2
(移転型)		26.9	28.9	27.2	35.1	20.8	19.6	19.4	23.6	10.6	16.2	4.9

③地域別

(単位：%)

項目	区分	北部				中部				那覇市			
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
永住		43.2	48.5	54.6	38.9	30.5	33.5	36.0	25.8	21.8	29.4	32.1	22.1
あえて移転する気なし		20.4	21.0	18.6	25.9	26.6	30.5	28.2	29.8	26.7	27.2	26.4	31.6
できれば即移転		4.7	5.2	3.2	8.0	8.1	5.6	6.1	9.2	11.1	9.3	7.2	10.5
いつかは移転		17.4	17.7	15.9	17.9	26.1	24.4	21.9	25.8	33.3	31.0	26.9	29.0
わからない		7.0	6.6	5.5	1.2	5.3	5.1	6.3	3.2	3.8	2.5	5.7	5.1
無答		7.3	1.0	2.2	8.1	3.4	0.9	1.5	6.2	3.3	0.6	1.7	1.7
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(定住型)		63.6	69.5	73.2	64.8	57.1	64.0	64.2	55.6	48.5	56.6	58.5	53.7
(移転型)		22.1	22.9	19.1	25.9	34.2	30.0	28.0	35.0	44.4	40.3	34.1	39.5

項目	区分	南部				宮古				八重山			
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
永住		36.3	34.2	40.3	36.8	51.4	55.3	58.3	40.9	43.9	43.1	51.2	52.3
あえて移転する気なし		29.7	26.6	25.0	24.7	21.6	22.0	18.8	25.8	22.3	31.2	20.9	12.3
できれば即移転		4.2	6.2	4.2	9.0	4.3	4.0	3.1	9.1	5.8	7.3	9.3	7.7
いつかは移転		20.9	25.5	24.2	19.8	15.7	14.7	12.5	9.1	19.4	11.9	16.3	27.7
わからない		5.9	5.5	5.6	7.3	4.3	4.0	7.3	4.5	7.9	5.5	1.2	0.0
無答		3.0	2.0	0.7	2.4	2.7	0.0	0.0	10.6	0.7	1.0	1.1	0.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(定住型)		66.0	60.8	65.3	61.5	73.0	77.3	77.1	66.7	66.2	74.3	72.1	64.6
(移転型)		25.1	31.7	28.4	28.8	20.0	18.7	15.6	18.2	25.2	19.2	25.6	35.4

表5-3-2 定住希望理由

①県計性別

(単位：%)

	県計	男	女
自分の家がある	66.3	65.2	67.3
地域の将来性あり	7.9	8.5	7.5
家を継ぐ	10.6	13.9	7.5
現住地に愛着がある	54.7	52.9	56.6
今の仕事に満足	11.1	12.6	9.8
親戚や近所等の付き合い	10.2	9.8	10.5
住環境がよい	35.0	35.4	33.8
生活に便利である	52.4	49.9	55.1
なんとなく	18.0	19.8	16.2
その他	2.3	1.9	2.6
わからない	2.2	2.1	2.4
無答	29.2	27.9	30.8
計	300.0	300.0	300.0

②年齢階級別

(単位：%)

	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
自分の家がある	59.4	34.9	44.4	66.7	81.5	86.7	87.0
地域の将来性あり	15.6	6.6	8.9	11.0	7.1	5.4	2.9
家を継ぐ	9.4	11.3	15.0	10.5	7.1	10.8	7.2
現住地に愛着がある	31.3	62.3	49.4	51.6	53.6	62.0	62.3
今の仕事に満足	3.1	12.3	11.1	16.0	9.5	7.2	11.6
親戚や近所等の付き合い	3.1	12.3	5.6	5.0	13.1	14.5	21.7
住環境がよい	37.5	36.8	40.0	38.4	39.3	24.1	20.3
生活に便利である	56.3	51.9	61.7	48.4	44.6	53.0	56.5
なんとなく	37.5	29.2	21.1	16.9	12.5	13.9	11.6
その他	0.0	2.8	3.9	2.3	1.8	1.8	0.0
わからない	3.1	2.8	3.9	3.2	0.6	1.2	0.0
無答	43.7	36.8	35.0	30.0	29.3	19.4	18.9
計	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0

③地域別

(単位：%)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
自分の家がある	71.4	67.0	54.5	74.0	77.3	61.9
地域の将来性あり	8.6	7.6	9.6	5.6	4.5	14.3
家を継ぐ	9.5	9.3	5.3	16.9	20.5	14.3
現住地に愛着がある	52.4	55.3	53.1	55.4	61.4	52.4
今の仕事に満足	16.2	9.3	9.6	10.7	18.2	16.7
親戚や近所等の付き合い	6.7	15.0	3.3	11.9	6.8	7.1
住環境がよい	36.2	35.7	30.1	33.9	47.7	40.5
生活に便利である	41.9	47.7	76.6	40.1	38.6	66.7
なんとなく	13.3	17.4	18.7	22.0	15.9	16.7
その他	2.9	1.4	2.4	3.4	0.0	7.1
わからない	1.9	1.9	2.4	3.4	0.0	2.4
無答	39.0	32.4	34.4	22.6	9.1	0.0
計	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0

表5-3-3 移転希望理由

①県計・性別

(単位：%)

	県計	男	女
自分の家を持ちたい	58.5	60.0	57.1
住環境が悪い	28.1	30.2	26.3
地域の将来性なし	16.5	17.1	15.8
やりたい仕事がない	15.4	14.2	16.9
生活に不便である	17.6	16.7	18.8
教育・文化施設不足	12.5	10.9	14.3
結婚などのため	4.2	1.8	6.8
付き合いがわずらわしい	11.2	9.1	12.8
生地で住みたい	18.0	17.8	18.0
なんとなく	17.8	18.5	16.9
その他	15.2	14.9	15.8
わからない	84.6	88.0	80.5
無答	0.4	0.7	0.0
総計	300.0	300.0	300.0

②年齢階級別

(単位：%)

	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
自分の家を持ちたい	43.2	66.3	65.5	58.3	46.6	41.0
住環境が悪い	13.5	20.8	27.4	34.5	29.3	41.0
地域の将来性なし	29.7	13.9	9.5	19.4	19.0	28.2
やりたい仕事がない	24.3	23.8	10.1	13.7	15.5	12.8
生活に不便である	21.6	18.8	18.5	15.8	10.3	25.6
教育・文化施設不足	21.6	11.9	14.9	12.2	3.4	7.7
結婚などのため	10.8	12.9	1.8	1.4	1.7	0.0
付き合いがわずらわしい	10.8	9.9	11.9	8.6	15.5	12.8
生地で住みたい	8.1	15.8	19.6	15.1	29.3	20.5
なんとなく	29.7	19.8	12.5	15.8	29.3	15.4
その他	10.8	13.9	14.9	17.3	20.7	10.3
わからない	75.7	71.3	92.9	87.8	79.3	84.6
無答	0.0	1.0	0.6	0.0	0.0	0.0
総計	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0

③地域別

(単位：%)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
自分の家を持ちたい	47.6	58.0	66.9	56.6	25.0	52.2
住環境が悪い	16.7	27.3	39.0	19.3	8.3	26.1
地域の将来性なし	28.6	16.5	12.3	15.7	25.0	21.7
やりたい仕事がない	21.4	18.2	5.8	24.1	16.7	8.7
生活に不便である	14.3	19.9	16.2	13.3	16.7	26.1
教育・文化施設不足	19.0	6.5	14.3	18.1	16.7	26.1
結婚などのため	0.0	3.9	3.9	7.2	0.0	8.7
付き合いがわずらわしい	19.0	12.6	4.5	16.9	16.7	4.3
生地で住みたい	11.9	17.7	14.9	27.7	33.3	8.7
なんとなく	21.4	15.6	18.2	16.9	8.3	39.1
その他	14.3	15.2	18.2	14.5	16.7	0.0
わからない	83.3	88.3	85.7	69.9	116.7	78.3
無答	2.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0

表5-3-4 希望移転先

①県計・性別

(単位：%)

	県計				男				女			
	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
今住んでいる市町村内	35.2	39.8	41.3	37.2	34.4	37.7	40.1	36.0	35.9	42.3	42.8	38.7
県内のよその市町村	21.9	22.8	20.4	34.5	21.3	24.5	20.5	34.5	22.5	20.6	20.7	35.0
本土	8.2	9.4	5.7	9.9	9.0	9.5	5.2	10.5	7.5	9.3	6.3	8.6
外国	4.0	2.6	2.9	2.4	4.0	2.4	3.3	2.2	4.0	2.9	2.7	2.6
どこでもよい	13.3	15.0	12.7	8.1	12.5	14.5	12.4	8.7	14.0	15.6	12.9	7.1
無答	17.4	10.4	17.0	7.9	18.8	11.4	18.5	8.0	16.1	9.3	14.6	7.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

②年齢階級別

(単位：%)

項目	区分	15～19歳				20～29歳				30～39歳			
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
今住んでいる市町村内		18.7	29.1	30.3	21.6	36.1	41.1	49.4	34.7	37.6	38.6	42.2	35.7
県内のよその市町村		21.9	14.0	19.7	27.0	22.7	22.9	19.5	35.6	21.3	27.7	23.5	36.3
本土		16.0	24.4	16.7	21.6	7.0	12.5	1.2	9.9	8.4	6.7	6.5	10.7
外国		16.6	4.7	7.6	5.4	2.4	3.6	1.2	2.0	1.3	1.8	1.7	3.0
どこでもよい		15.5	18.6	15.2	18.9	18.2	12.5	18.4	7.9	13.7	15.8	7.8	8.3
無答		11.3	9.2	10.5	5.4	13.6	7.4	10.3	9.9	17.7	9.4	18.3	6.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

項目	区分	40～49歳				50～59歳				60歳以上	
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	平2年	平7年
今住んでいる市町村内		33.7	42.5	43.0	38.1	-	-	37.8	39.7	41.7	59.0
県内のよその市町村		21.5	21.0	14.8	37.4	-	-	24.4	29.3	16.7	28.2
本土		6.9	6.6	3.1	7.9	-	-	4.4	10.3	2.8	0.0
外国		2.8	2.4	3.1	1.4	-	-	4.4	3.4	2.8	0.0
どこでもよい		9.3	14.4	17.2	7.2	-	-	8.9	6.9	19.4	2.6
無答		25.8	13.1	18.8	7.9	-	-	20.1	10.3	16.6	10.3
計		100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0

③地域別

(単位：%)

項目	区分	北部				中部				那覇市			
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
今住んでいる市町村内		28.3	40.3	26.2	47.6	36.4	34.6	39.9	30.3	40.0	51.2	52.2	51.9
県内のよその市町村		26.6	21.0	28.6	21.4	23.3	21.4	19.2	41.6	16.0	15.3	17.7	24.0
本土		9.7	4.8	11.9	14.3	6.6	9.5	3.8	7.4	7.0	9.8	4.4	6.5
外国		7.1	3.2	2.4	0.0	3.8	3.4	3.8	3.0	3.0	2.4	1.5	1.3
どこでもよい		9.7	16.1	7.1	11.9	15.2	16.6	13.0	9.5	12.5	13.9	12.3	6.5
無答		18.6	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

項目	区分	南部				宮古		八重山		宮古・八重山			
		昭54年	昭59年	平2年	平7年	平2年	平7年	平2年	平7年	昭54年	昭59年	平2年	平7年
今住んでいる市町村内		26.5	29.0	29.4	22.9	26.7	25.0	54.6	47.8	31.4	32.7	43.2	40.0
県内のよその市町村		31.9	39.9	25.5	41.0	20.0	41.7	18.2	30.4	15.1	30.6	18.9	34.3
本土		10.2	5.8	7.8	19.3	20.0	16.7	9.1	13.0	18.6	22.4	13.5	14.3
外国		4.8	2.2	3.9	3.6	0.0	0.0	4.6	4.3	4.7	0.0	2.8	2.9
どこでもよい		10.8	15.9	16.7	7.2	13.3	0.0	4.6	4.3	14.0	8.2	8.1	2.9
無答		15.8	7.2	16.7	6.0	20.0	16.6	8.9	0.2	16.2	6.1	13.5	5.7
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

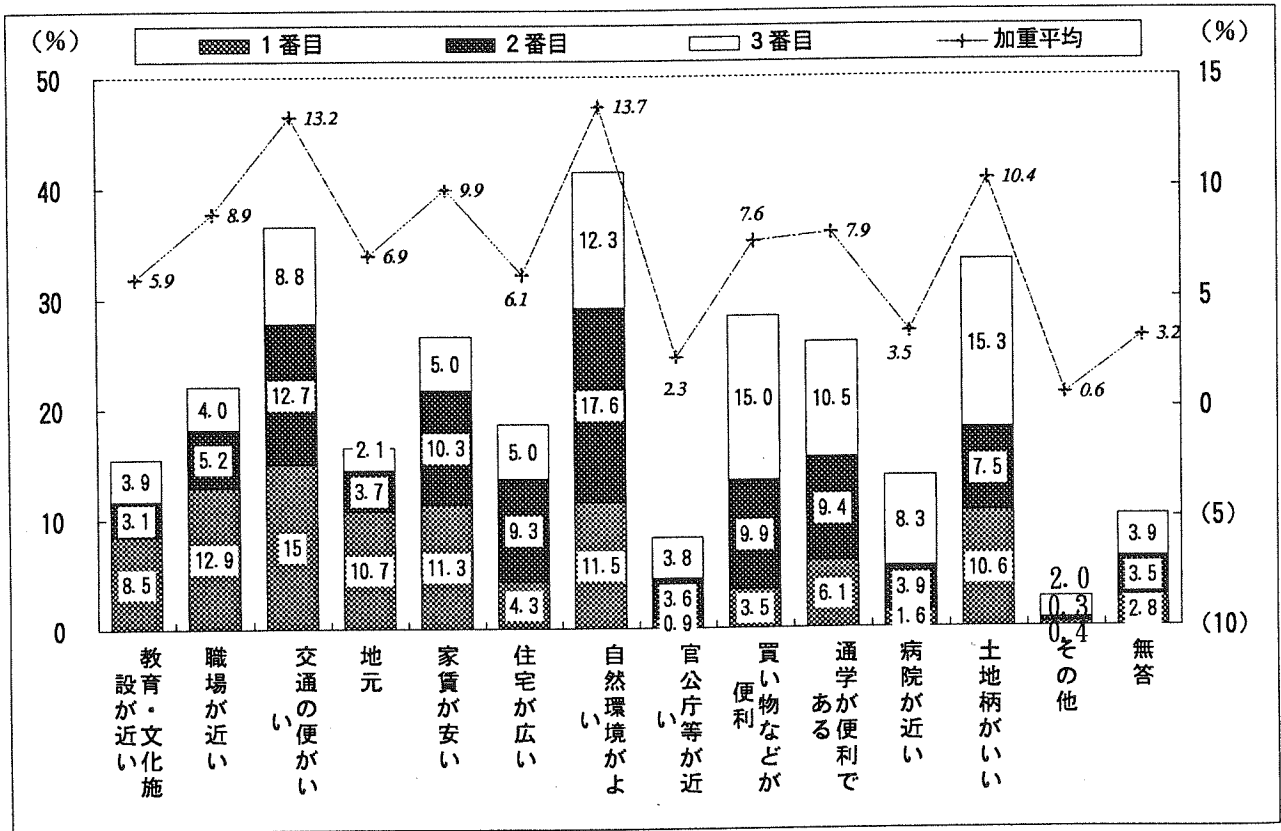
4 住宅を選択する条件

(1) 県計でみた住宅を選択する条件

県民が、住宅や周りの環境についてどのようなことを望むかについて、13の項目の中から、順位をつけて3つ選択してもらった(問6)。これらの結果にウェイト付け(1位に3点、2位に2点、3位に1点)をし、加重平均でとらえている。

これを県全体についてみると(図5-4-1)、住宅やその周辺環境の条件と挙げられた割合がもっとも高かったのは、「自然環境がよい(13.7%)」であり、次いで「交通の便がいい(13.2%)」、「土地柄がいい(10.4%)」の順となっている。逆に「(銀行、郵便局を含む)官公庁等が近い(2.3%)」や、「病院が近い(3.5%)」、「教育・文化施設が近い(5.9%)」等の希望度は低くなっており、身近に諸施設があることよりも、多少離れていても自然や土地柄等を重視し、施設利用の利便性に関しては交通の便の良さで補おうとする傾向がみられる。また、「買い物などが便利」については、7.6%(7位)と比較的、希望度の低い項目であるが、選択順位の1番目から3番目までの単純合計値に着目すると4位となっており、それほど強く望まれているわけではないが、比較的多くの人が望んでいる項目といえる。

図5-4-1 住宅環境希望(県計)



(2) 男女別、年齢階級別、地域別にみた住宅を選択する条件

次に、男女別、年齢階級別、地域別にみると（図5-4-2）、男女間に大きな差はみられず、各項目で県計と同様な評価となっているが、「職場が近い」や「交通の便がいい」等で男性が女性を、「日常の買い物」、「家賃が安い」等で女性が男性をやや上回っており、女性に比べ男性は住宅を「選択する条件」に仕事との関わりがみられるのに対し、女性は日常生活の利便性を優先する様子が見られる。

また、「年齢階級別」では、「交通の便がいい」、「地元」、「日常の買い物などが便利」等の項目では高年齢になる程その希望度が高く、生地での定住を希望しつつも日常生活の利便性を強く望む傾向が見られる。また、「病院が近い」の項目においても同様の傾向が見られるが、これは年齢が増すにつれ病院が日常生活で利用する頻度の高い施設となることによると思われる。逆に、「家賃が安い」の項目では、低い年齢層ほど希望度が高く、年齢層が上がるにつれて、その割合が減少する。これには、年齢層の上昇に伴う所得の増加と、自分の家を持つ者の増加が影響していることが考えられる。

また、「子供の通学が便利である」、「土地柄がよい」、「自然環境がよい」等の項目では中年層の希望が高く、家族を持ち子供を育てる世代の住環境への配慮が見られる。

さらに「地域別」では、都市部（那覇市）で希望度が最も高く、周辺に離れるに従い希望度が低くなる傾向を持つ項目として「交通の便がいい」があり、逆の傾向を持つ項目として「地元」がある。これらについては、充足度の高い地域ほどそれを選好する傾向があり、日常生活で享受している利点を今後の住宅選択に際しても引き続き保ちたいという考えが影響していると思われる。

また、これらとは異なり、「教育・文化施設が近い」、「家賃が安い」等の様に項目内容の充足度の低いと思われる地域ほど、高い希望度を示す項目もあり、住宅を選択する理由には、現生活で享受しているメリットの継続と、よりよい生活へのニーズの両方があるものと思われる。

図5-4-2 加重平均でみた住宅環境希望

(単位：%)

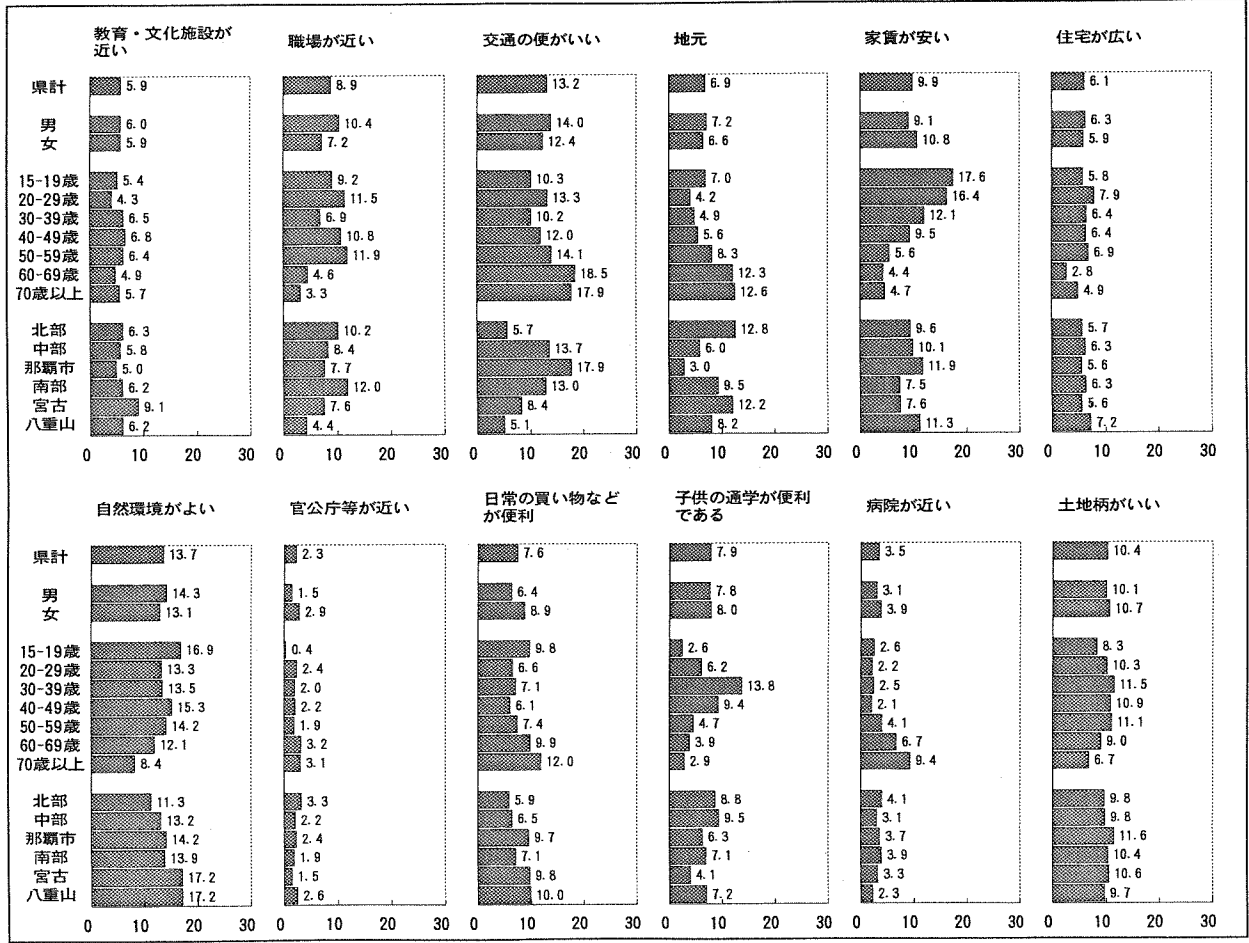


表5-4-1 住宅環境希望

(単位：%)

	県計				性別加重平均		年齢階級別加重平均							地域別加重平均					
	1位	2位	3位	加重平均	男	女	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
教育・文化施設が近い	8.5	3.1	3.9	5.9	6.0	5.9	5.4	4.3	6.5	6.8	6.4	4.9	5.7	6.3	5.8	5.0	6.2	9.1	6.2
職場が近い	12.9	5.2	4.0	8.9	10.4	7.2	9.2	11.5	6.9	10.8	11.9	4.6	3.3	10.2	8.4	7.7	12.0	7.6	4.4
交通の便がいい	15.0	12.7	8.8	13.2	14.0	12.4	10.3	13.3	10.2	12.0	14.1	18.5	17.9	5.7	13.7	17.9	13.0	8.4	5.1
地元	10.7	3.7	2.1	6.9	7.2	6.6	7.0	4.2	4.9	5.6	8.3	12.3	12.6	12.8	6.0	3.0	9.5	12.2	8.2
家賃が安い	11.3	10.3	5.0	9.9	9.1	10.8	17.6	16.4	12.1	9.5	5.6	4.4	4.7	9.6	10.1	11.9	7.5	7.6	11.3
住宅が広い	4.3	9.3	5.0	6.1	6.3	5.9	5.8	7.9	6.4	6.4	6.9	2.8	4.9	5.7	6.3	5.6	6.3	5.6	7.2
自然環境がよい	11.5	17.6	12.3	13.7	14.3	13.1	16.9	13.3	13.5	15.3	14.2	12.1	8.4	11.3	13.2	14.2	13.9	17.2	17.2
官公庁等が近い	0.9	3.6	3.8	2.3	1.5	2.9	0.4	2.4	2.0	2.2	1.9	3.2	3.1	3.3	2.2	2.4	1.9	1.5	2.6
日常の買い物などが便利	3.5	9.9	15.0	7.6	6.4	8.9	9.8	6.6	7.1	6.1	7.4	9.9	12.0	5.9	6.5	9.7	7.1	9.8	10.0
子供の通学が便利である	6.1	9.4	10.5	7.9	7.8	8.0	2.6	6.2	13.8	9.4	4.7	3.9	2.9	8.8	9.5	6.3	7.1	4.1	7.2
病院が近い	1.6	3.9	8.3	3.5	3.1	3.9	2.6	2.2	2.5	2.1	4.1	6.7	9.4	4.1	3.1	3.7	3.9	3.3	2.3
土地柄がいい	10.6	7.5	15.3	10.4	10.1	10.7	8.3	10.3	11.5	10.9	11.1	9.0	6.7	9.8	9.8	11.6	10.4	10.6	9.7
その他	0.4	0.3	2.0	0.6	0.5	0.8	0.4	0.7	0.6	0.7	0.6	0.7	1.2	0.6	0.5	0.3	0.7	1.5	3.3
無答	2.8	3.5	3.9	3.2	3.3	3.0	3.8	0.9	1.8	2.4	2.9	7.0	7.5	6.2	4.9	1.0	0.4	1.8	5.4